

(3) 本年度の学校評価

重点目標	本校におけるキャリア教育をさらに推進し、自己の将来を考えさせ、自ら向上しようとする意欲を引き出す。 (1) 学習活動の充実 (2) 基礎的生活習慣の確立 (3) キャリア教育の推進 (4) 5年先・10年先を見据えた本校における工業教育の在り方 (5) 教職員の多忙化解消のため、教員間の協力体制・役割分担を再確認し、協働して学校教育活動に当たられるようにする		
担当	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部 各学年	総務関係の学校行事についての内容を充実	・PTA関係の行事内容を検討し、全日制と定時制で分けて活動した方がよいものを検討して、内容の充実に努める。 ・今年度より新たな方法で実施する行事について、内容をよりよいものにする。	・PTA専門委員会や研修会などの内容を検討して、より効果があがるように定時制との連携を図り充実させる。 ・PTA総会や防災訓練など、職員間の連携をとることにより、よりよい運営ができるように努める。
教務部 各学年	基礎学力の向上と学習習慣の確立	・授業を受けるマナーについての指導を徹底する。また、課題等の提出についても期限を守らせるなどの学習習慣を身に付けさせ基礎学力の向上を図る。	・落ち着いた状況で学習活動を行い、日々の授業を大切にしよう継続的に指導をする。 ・各教科との連携を密にし、課題・提出物の指導や授業規律の確立について共通認識を持って指導にあたる。
生徒指導部 各学年	生徒の学びをキャリア教育と関連づけ、より効果的なものにする。	・各教科・特別活動・学校行事など多岐にわたる場面に置いて、アクティブ・ラーニングの視点による授業改善等を実践する。	・次期学習指導要領の趣旨等を教職員に周知徹底する。 ・家庭、地域社会、異校種と積極的に連携する。
	基本的生活習慣の確立	・挨拶の励行と遅刻の減少を起点とし、基本的生活習慣の確立及び自律心の向上に努めさせる。	・校内での挨拶を活発にするため、教職員も積極的に挨拶を行うよう心がける。また、遅刻者の個別指導を充実し、責任と義務の自覚を促す。
生徒指導部 各学年	自転車運転マナーの向上	・登校交通指導の実施及び警察署や地域と連携を密にし、交通マナーの向上に努めさせる。	・自他の命の尊さを再認識させ、法令遵守、マナー、モラルの向上を図り、生徒が自主的に安全な行動ができるよう指導する。
	スマホ・携帯電話等の取扱ルールの定着	・全教職員協力のもと、スマホ・携帯電話等の取扱ルールの定着に努めさせる。	・全教職員の協力のもと、生徒がスマホ・携帯電話等の取扱ルールが守られるように指導する。
生徒会部 各学年	人間関係形成と社会形成能力の向上	・ボランティア活動を通じて、地域社会に貢献し、社会での生徒自身の役割を認識させる。	・活動の意義を理解させ、自主的な取り組みのできる集団の形成を考えさせる。
	学校行事への効率的な取り組み	・行事の内容や校内での係・分担について委員会を開催し周知徹底を行う。	・行事、仕事内容を理解させ、活動的な集団の育成を図る。
保健部	環境美化活動の推進	・美化委員の環境美化委員会の活動をより充実させる。	・特別清掃として、落ち葉拾いに力を入れる。
	特別支援教育の推進	・特別支援教育委員会の開催する。	・特別支援教育委員会を行事計画の中に明記し、事前準備の段階から全職員に周知する。
図書部	皆が集まり、利用しやすい図書館の構築	・Noahを利用した、書籍管理と貸出しシステムを作り上げていく。 ・生徒・職員の読みたい本を選定することにより、図書館利用者の増加を促す。	・情報検索精度を向上させ、目的の書籍にすぐ到達出来るようなシステムを構築していく。 ・生徒のリクエストに対する対応を早く行い、読みたい本の充実を図る。
	人間関係形成・社会形成能力の育成	・イベントへの参加や自分たちの好きな小説を紹介することで、人間関係を形成するとともに、さまざまな分野の読書をする事で人間としての幅を広げる。	・図書館だよりの充実と岡工祭の展示参加、読書週間ポスターコンクール等を主催することによって、生徒たちが自己を表現し、お互いに関わり合い、よりよいものを作り上げていくよう指導する。
進路指導部 各学年	3年間を通じた進路指導の充実	・各学年の現状を把握し、行事内容を検討し、より良い内容になるようにする。 ・学科の特徴を活かした企業・職種の開拓を推進する。 ・進学指導の充実を図る。	・学年会との連携を密にし、各担任が必要としている情報を提供する。 ・企業に対して学科の特徴を積極的に発信し、新規求人が得られるように努力する。 ・工業高校卒を活かした進学情報の収集・研究を行う。
	コミュニケーション能力の向上	・グループワークの対策を考える。	・外部講師によるグループワーク説明会を実施し、対策を考える。
	新制度の研究	・障害者雇用促進法、大学入学共通テストの情報収集を行う。	・障害者雇用について保健部と連携しながら、情報収集を行う。
工務部 各学科	資格取得指導の充実	・生徒自ら資格取得に意欲的に取り組み、ジュニアマスター取得者が増加するように働きかける。	・生徒が多く資格に挑戦し、取得できるよう指導する。
	キャリア教育の充実	・地元企業との連携を強化し、インターシップ、ものづくり基盤人材育成事業、ものづくりスキルアップ講座へ積極的に参加させる。	・質および量の両面における充実をはかる。そのことから、生徒の技術・技能の向上を目指す。
	中学生体験入学の効率的な取り組み	・中学生体験入学の円滑な運営方法を構築する。	・効率的な体験入学が実施出来るよう、中学生の動きを考えながら、計画し実践する。
研修情報部	教員研修の充実	・初任者研修を早期に開始し、研修内容の検討を図り、効果的な研修を目指す。 ・職員の情報に関する知識の向上を目指す。 ・ホームページの充実を図る。	・初任者が2名のため、研修内容を実施しやすいものとし、実施状況に留意する ・情報セキュリティ等に関する研修を行う。 ・できれば、専任担当者を置いて更新をする。
	ホームページの充実と校内ネットワークによる校務の効率化	・校内サーバーの改善。	・各課、部にも素材提供を呼びかけ、ホームページの充実を目指す。 ・サーバー内を整理し、権限を細かく設定することで、誤削除などのトラブルを防ぐ。
学校関係者評価を実施する 主な評価項目		・生徒の基本的生活習慣の確立 ・基礎学力の向上 ・本校の教育活動の状況	・学校いじめ防止基本方針に基づく取り組み ・勤務時間の適正な管理及び、長時間労働による健康障害の防止

